

— 人と人、人と地域がつながりあう場所に



市営小針荘

ほっとすぺーす

こぼりん



「ほっとすぺーす こぼりん」は、市営小針荘 101・110 号室を活用して、地域の居場所や地域活動の場所、相談の場所として生まれました。

ふらっとやってきてお茶を飲んだり、仲間と集まって趣味を楽しんだり、健康体操をしたり、ボランティアとして活動したり…

ここでの交流から地域へと広がっていくことを目指していきます。

ほっとすぺーす こばりん

が完成するまで

改修前

右の写真は、改修前の 110 号室・101 号室の様子です。元々店舗付き住居だった 110 号室・101 号室は、店舗スペースと居住スペースに分かれており、ところどころに段差がありました。

110 号



101 号



空き部屋の活用方法を検討するにあたり、名古屋工業大学夏目研究室の学生さんが小針荘にお住まいの方を対象に、世帯状況や住環境についてのヒアリング調査を行いました（左図参照）。調査では、拠点について「気軽に集まってコーヒーを飲めたら嬉しい」「高齢者サロンがあると良い」などのご意見もいただきました。



改修工事の様子



居住スペースの壁の一部を取り払って広いスペースを作ったり、室内の段差をなくしたりするため、数か月にわたって大規模な改修が行われました。トイレも車いすユーザーの方でも利用しやすいように、広めの室内に生まれ変わりました。

サッシや壁の塗装は職人さんとともに、デザインを監修した名古屋工業大学夏目研究室の学生さんが行ってくださいました。

完成！



101 号

110 号



「ほっとすぺーす こぼりん」

オープンスペース（ひろま）

約 20 畳ほどのスペースでふくし拠点のメインとなる場所です。扉を開けば“縁側”のような雰囲気になります。

キッチンスペース

住宅の台所を改修したスペースで調理もできます。地域食堂や子ども食堂のような活動の場所としてお使いいただけます。

トイレ

トイレの部屋面積を拡大し、あらゆる方にとって使いやすいトイレに改修しました。

市営小針荘 110 号室

ときまるくん®

玄関の壁面は、いぶし色の特殊な瓦「ときまるくん®」やカラフルな塗装によって装飾されており、子どもから高齢者まで馴染みやすいデザインとなっています。

ミニスペース

オープンスペースやキッチンのにぎわいと少し区切られたお部屋です。少人数での活動や相談の場所などになります。

【デザイン監修】名古屋工業大学夏目研究室

※101 号室は元々の店舗型住居の間取りを活かし、土間(旧店舗スペース)を活用したイベントや和室を活用した相談事業等でご利用いただけます。

【予約方法】

昭和区社会福祉協議会(052-884-5511)へご連絡ください。

利用目的：地域福祉の増進および団地コミュニティの活性化のための活動

利用時間：原則 9 時 30 分～16 時 30 分

利用金額：無料

市営小針荘 101 号室・110 号室

名古屋市昭和区鶴舞二丁目 10-23

※拠点の整備は名古屋市住宅都市局、名古屋市住宅供給公社、名古屋工業大学、昭和区社会福祉協議会の四者による協働で実施しています。

<お問合せ>

社会福祉法人名古屋市昭和区社会福祉協議会

〒466-0051 名古屋市昭和区御器所 3-18-1

Tel:052-884-5511 Fax:052-883-2231

